

因幡のくにの夢づくり

# とのまる通信

第7号  
2002・6・1

発行：国土交通省中国地方整備局 殿ダム工事事務所 鳥取県岩美郡国府町宮下1221 TEL)0857-29-9570 FAX)0857-29-9612 http://www.cgr.mlit.go.jp/tono/index.html

## こんな身近に 隠れた秘境発見！

「雨滝から河合谷に抜ける中国自然歩道は、滝や巨木が何個もあるし、歩くのには最高ですよ！」との話を聞きつけた編集スタッフが、「そういえばぼく5年ほど前、袋川源流の碑を立てに、中国自然歩道を歩いたわいや。ええとこだったで。」と当時の記憶を思い出した。



そんないい自然歩道なら、行ってみよう！  
“源流”といわれる所も見てみたいし。  
という事で、早速歩いてみることに！



滝を上部から望める絶好の場所。(親子滝)

### ♪10年前なら登っちゃいるが…

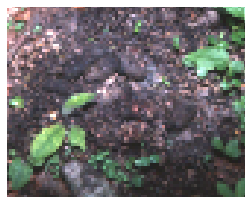
さて、中国自然歩道を歩く事が決まったが、いったい雨滝のどこから上がるのか？詳しい事を聞きに役場へ行ってみると…

「え～雨滝から中国自然歩道へ上がるですかあ？あそこはええとこですが、みんな林道使いますけえ～ね」とか、

「10年前に上がった事はありますけどなあ…最近誰も上がらですよ」とか、

「マムシに気いつけんさい！」など、返ってくるのは不安をあおる言葉ばかり。県発行の

“中国自然歩道 雨滝のみち”という地図はあるが、不安なので、どなたか案内してくださる方がいないかと案内



自然歩道のど真ん中でタヌキのうんこ発見！それだけこの道、人気がない？

人探しを始めるが…いようはずもない。しかたがない、案内人なしで上がろうか、と半ばあきらめかけていた時、雨滝集落の岸本勇さんの名前が浮上。毎日雨滝周辺を掃除しておられる方らしい。早速道案内をお願いすると、快く引き受けてくださった。



ヒメレンゲの花におおわれた巨大な岩石。新緑の時期だけ見られる光景。

翌日…以前拾石にお住まいだった米山富久さんと偶然出会い、「元気ですか？」と声をかけると、「うん、わしゃ毎日のように山へ行ったりしますけえ、元気ですわいな！」との事。「え、山？そしたら…」と事情を話すと、「友達の福田勉さん(国府町中河原在住)誘うて、わしらも登ろうかえ！」という事になり、5人で上がる事に！

### 雨の予想は各地区公民館で！

鳥取市内から雨滝まで車で約40分。途中、殿ダム建設予定地を過ぎ、大茅公民館に立ち寄った。最近、国府町内の各地区公民館などに導入された「殿ダムインフォメーション設備」で、全国の雨の状況をチェックするためだ。

5月14日午前10時現在、中国、地方で雨が降っている所はない。空には薄く雲がかかっているが、今日一日雨は降らない事を確信し、雨滝の中国自然歩道へ向かって、いざ出発！

雨滝の前にて▶





# こんな美しい滝 見たことない！

中国自然歩道“森の中を歩くコース”の入り口となる雨滝は、日本の滝百選の1つで、幅5m、高さ40mの勇ましい滝。常に轟音を響かせ、豪快なしぶきと、ばく風を舞いあげている。ここ雨滝の前の橋を渡った所から、森への第一歩を踏み出した。



息を飲むほど美しい筥滝。初春のわずかな期間だけ、道路からも少し筥滝の姿が望める。

新緑の木々の中、大人が1人歩けるほどの狭い道を軽快に歩く。歩く事約15分、<sup>ほこ</sup>筥滝と河合谷林道に分かれる分岐点にたどりつく。

「寄り道だけど、筥滝は見ると話しにならまい」と河合谷林道とは別の方向に歩く。歩くこと約15分。

「ワァ〜！スゴイ！こんな美しい滝見たことない！」不定型に突き出した階段状の岩壁の上に水が落下し、変化に富んだ流れとなっている。これが知る人ぞ知る「筥滝」か！自然が作り出した造形美に思わず脱帽！



## 山は豊かで 忙しい

道すがら、米山さんの姿が時々見えなくなる。どこへ行かれた？と周囲を見渡すと、草の中でなにやらぶっしょく中。ガサ、ガサ…

「これがミズブキ。素直な植物で、つけた味がそのまましみ込むので」と、差し出してくださった。しばらく歩くと、また米山さんの姿が見えない。今度は上の方で声がする。

「もうこのウドは伸びすぎとるな〜」今度は笹の中から姿を現し、ポケットからスズコがわんさか！

「山は豊かで忙しい！」

米山さんは、最低3日に1度、福田さんと一緒に山へ上がられるそう。

## 原生林に包まれて…

途中1箇所雪の重みで木が倒れ、道をふさいでいる所があったが、互いに協力して迂回。また、岩や丸太を飛び越えて溪流を渡ったり、草を刈りながら進んだ所も一部あった。



幹回り約8~10mあるブナの巨木

それ以外は、ブナやトチなどの巨木が点在し、美しい溪流や名もない無数の滝をめでながら歩ける神秘的な風景が広がっていた。

最初は、地図がなくて心配だったが、道の要所要所に道しるべがあるので、心配御無用！しかし…この古くポロポロになった木製の道しるべ、よ〜く見てみると、クマのひっかいた痕跡があ〜！決してあなどれない自然歩道だ。

原生林に包まれて、歩く事約2時間、最終地点の河合谷林道へと出てきた。ストレスもすっかり取れ、「あ〜気持ち良かった！」



ゆるやかなアップダウンが続く中国自然歩道。

## 源流の碑はいずこに？

さあ、ここからは源流探し！河合谷林道にあらかじめ置いていた車で、山頂の方へ上がる事約10分。一気に視界が開け、牛の放牧風景が広がっていた！。ここは財団法人鳥取県畜産振興協会が管理運営している、鳥取放牧場河合谷分場。

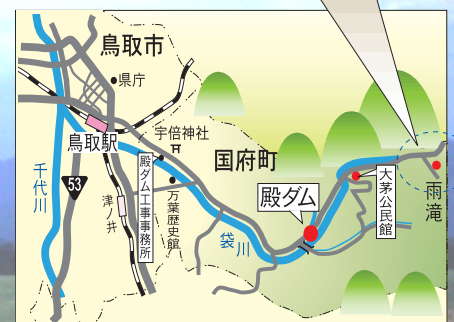
「いや〜広大な風景！ここも別天地！」

この河合谷分場をさらに上がる事約10分。

「確か、袋川の源流の碑はここらへんと聞いたのですが…」と、河合谷大根の洗い場周辺の谷を探し始めた。しかし…探せど探せど見当たらない。

1日よく歩いた疲れも出てきて、源流探しは断念。しかし改めて、袋川の源流を育む、扇ノ山のふところの大きさに感じ入ったと同時に、源流域がこんなにも自然豊かで美しい事を知り、感動した。

今後この環境を守り育てていきたいものですね。



春先から、雪が降り始める11月下旬の間だけ、約200頭の乳牛が放牧される河合谷分場。





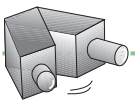
## 「殿ダムインフォメーション設備」開設！

# 遠く離れたテレビカメラを あなたも簡単に操作できる！

今回は、前ページの“隠れた秘境発見！”の取材の際、事前に雨の情報や拾石周辺の道路状況を調べるために使った「殿ダムインフォメーション設備」について、その情報内容や利用の裏ワザをまじえてご紹介します。

### この設備を置いている所

国府町内の各学校や各地区公民館、役場などに設置しています。また現在、県庁県民室や市役所への設置も検討しています。



### カメラ

拾石地区に設置されたテレビカメラから、その周辺の今の様子を見ることができます。(今は1台ですが、今年度内に2~3台テレビカメラを増設する予定です。)

カメラは約360度自由に角度を動かす事ができ、ズームアップや広範囲の映像など、見たい場所を自分で調節しながら見ることができます！

もし、各設備で同時にテレビカメラを動かそうとしたらどうなるの？

それは…早い者勝ち！  
最初に動かした人に主導権があり、カメラを動かす事ができます。いざ、勝負！



県道の様子も見られるから、積雪の具合もよくわかるよ！

### 川・雨の情報

全国及び鳥取県全域で今降っている雨の状況(強さ)を知ることができます！

また、袋川の宮ノ下地点や千代川の行徳地点などの水の量を見ることができます！

夏休みの自由研究は、この設備を使って、袋川の水量の変化について調べてみようかな！



かなりズームがきくから、川の様子を確認してから釣りに出かけるといいかも！

女優の田中ひろ子さんが、因幡(鳥取県東部)を旅した番組や“動く紙芝居”の他、殿ダム関係のニュース映像などが見られます。あ！私が映ってる！っていう事も？

### 画像記録

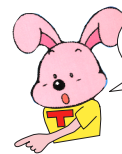
この設備の大きなメリットの1つは、現場に行かずとも、現場に設置されたテレビカメラを、「殿ダムインフォメーション設備」から操作すると、現場周辺の様子がモニター画面から見られる事！

この設備は、ダム完成後のダム管理を目的として計画したのですが、工事中の現場監視を事務所から行うことによって、より細やかな配慮ができるようにと、先行して設置したものです。

この設備は、ダム完成後のダム管理を目的として計画したのですが、工事中の現場監視を事務所から行うことによって、より細やかな配慮ができるようにと、先行して設置したものです。



中央公民館に設置されている「殿ダムインフォメーション設備」の前にて。

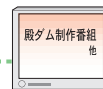


この画面からスタートするよ！

### 殿ダム広報

殿ダムに関わるいろいろな情報を、いち早くお伝えします。

この他、とのまる通信・殿ダムの役割・工事状況や国府町からのお知らせコーナーがあります！




雨滝に田中ひろ子さんが来んさっただでえ。

わしの活躍も見ておくれ！



動く紙芝居に登場するよねぞうじいさん。

## 「殿ダムインフォメーション設備」を使ってみよう！

使い方は簡単！まずは見てみたい項目の黄色いボタンをクリックします。その後も見たい所をクリックしていきますが、使い方がわからない時などは、設備横に設置してある電話からコールしてください。殿ダム工事事務所の職員が対応します。お気軽にご利用ください！(電話のご利用は、原則として平日の8:30~17:00までとさせていただきます。)

電話

使い方の説明書き



教えてコールは上記卓上の電話をお使いください。

## 今年度に実施する工事のお知らせ

現在進めている主だった工事をお知らせします。

### 工事 1

#### ダム本体の工事を行うために必要な準備的工事

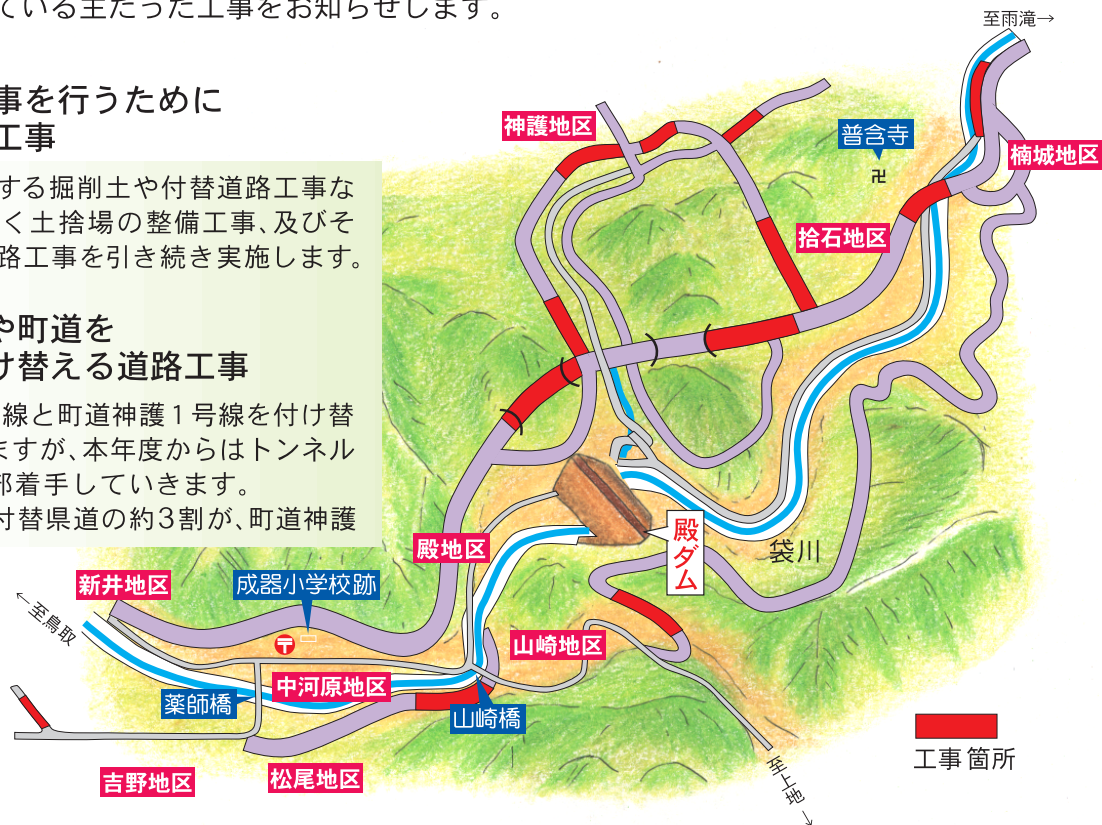
ダム本体の施行時に発生する掘削土や付替道路工事などで発生する多量の土を置く土捨場の整備工事、及びその場所へ進入するための道路工事を引き続き実施します。

### 工事 2

#### 水没する県道や町道を別の場所へ付け替える道路工事

主要地方道鳥取国府岩美線と町道神護1号線を付け替える道路工事を進めています。本年度からはトンネルや橋梁などの工事にも一部着手していきます。

今のところ、本年度末に付替県道の約3割が、町道神護1号線は約5割の工事が完成する予定です。



殿ダム建設に伴う

移転者ご家族の今を紹介するコーナー

### 今回の元気がいな!

#### 米山幹雄さん



米山幹雄さん 以前お住まいだった拾石の家



「昭和56年よりダム関係の寄り合いに出たけれど、一向に話が進まずです!それで年は若く新参者ですが、ダム常任委員会の役員に立候補したんです。」と語る幹雄さん。それからというもの、移転者及び残存者との話し合いやとりまとめ、そして様々な交渉事など日々奔走。現在も同会の委員長として殿ダムに関する諸問題に対応しておられる。

また、米山さんといえば、移転前お住まいだった家が印象的だ。米山邸は、前庭が広く、母屋は下屋と呼ばれる屋根をつけず、葺きおろしただけの茅葺き屋根の家。歴史は古く江戸末期に建てられたもの。

「茅ぶき屋根の家は見た目、癒しを感じますが、すきま風は入るは、冬、家の中にも雪は積もるは、住みにくかったです。」と幹雄さん。また、維持管理も難しかったらしく、今ではなくなった茅を前年までに採取保存しておき、毎年郡家町から茅葺き職人さんに来ていただき、屋根を修繕してこられたそうだ。

「歴史ある我が家がなくなるのは淋しいですが、拾石で水害の恐ろしさを何度も体験しているので、ダムができる事により、国府町及び鳥取市の水害が防止でき、水の確保にも役立つのであれば…と割りきりました。現在も以前のように、日々淡々と生活しています」と語られた。

### 新職員のお知らせ



山本康夫  
建設監督官



村上九十九  
工務第二係長

今年度から、新たに建設監督官と工務第二係長がスタッフに加わりました。今後は主にこの2名が工事の調整や監督を担当します。よろしくお願いします。



お便りもお待ちしております!

### お問い合わせ＆お便りの宛先

#### 国土交通省 殿ダム工事事務所

とのまる通信編集部 宛

〒680-0151 鳥取県岩美郡国府町宮下1221  
TEL)0857-29-9570 FAX)0857-29-9612  
<http://www.cgr.mlit.go.jp/tono/index.html>